

【編集発行】

熊本県天草市役所
総務部秘書課広報広聴係
〒863-8631 天草市東浜町8番1号
TEL 0969-23-1111
FAX 0969-22-7016
URL <http://www.city.amakusa.kumamoto.jp/>
E-mail hisyoka@city.amakusa.lg.jp



世界のト〇タでは、「会社が日々進歩するためには、トラブルが起きたときにその企業や人がどういう姿勢で対応するかが重要。『なぜ』を5回繰り返して、本当の原因を見つけ対策を講じている」とのこと。私はこれまでの失敗で、本当の原因を追究したことは？【空】

とても有名な辞典が10年ぶりに改定され、新語が約1万語追加されました。時代を反映し、めっちゃ、自己中、マイブーム、着メロなどが掲載されています。ただ、新語の中に私が敬愛する「〇〇弁」が入っているのが心配です。「そんなの載る訳ねー」だろうな。【凡】

かぜをひきやすい私。予防のために毎日、ヨード液でうがいをしていましたが…。なぜ？と調べていたら、ある実験の記事を発見。ヨード液うがいをした場合と何もしない場合のかぜの発症率はほぼ同じ、水うがいはその約40%とのこと。これまでの苦労は…。【松】

旅行の楽しみは、その土地の名物を食すことだと思い、旅に出たときはいつも食い倒れています。そこで、いつも思うのは、“天草の食べ物っておいしい”。なんだかんだ言って、「これは天草のほうおいしい！」なんて言っている自分がいます。好きだねえ。【村】



レンズの奥に見える **宝島のキャンパス**



500年の時を越えて咲く“兜梅”

かぶどうめ

Vol.24
浜崎町

浜崎町の延慶寺境内にある「兜梅」。樹齢500年以上といわれ、東西14m、南北7mにわたる枝ぶりがみごとで、小さくて白い可憐な花を咲かせます。バラ科サクラ属の白梅で、樹高約3m、根回り約1.7m。天然記念物として県指定重要文化財の一つにも数えられています。毎年、2月上旬から中旬にかけて見ごろを迎えます。
(※写真は平成16年2月に撮影)



「吉井勇の歌碑」

大江天主堂の前に、五足の靴一行の1人・吉井勇の歌碑が2基建立されています。これは、全国にある吉井勇の歌碑の中で、1番目と100番目に建てられた記念すべきものです。



▲大江天主堂前に建つ吉井勇の歌碑(写真右が1番目に、左が100番目に建立された歌碑)

1番目の歌碑は、郷土史家の浜名志松さん(天草町大江)らが尽力され、昭和27年に建立。吉井勇の短歌「白秋とともに泊まりし天草の大江の宿は伴天連の宿」が刻まれています。

また、100番目に建立された歌碑には、最初の歌碑の除幕式に訪れた吉井勇が、歌碑を前にして五足の靴の旅や仲間を懐かしんで詠んだ歌「ともにゆきし友みなあらず我一人老いてまた踏む天草の島」が刻まれています。皆さんもぜひご覧ください。